

訂正とおわび

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の個所に誤りがありました。おわびして訂正いたします(本誌のウェブ・ページで同様の内容を掲載しています)。 (編集部)

■ 2015年4月号

● 特集

USB スペクトラム・アナライザの価格について、目黒電波測器での販売価格は次のようになります(2015年3月10日現在)

- USB-SA44B 定価 217,400円(税抜)
- BB60C 定価 591,000円(税抜)

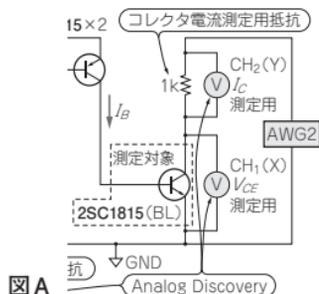
p.49 左↑23行目: Aarania社→Aaronia社

p.53 写真3のキャプション: 2枚出てくる→1枚出てくる

p.60 右↓9行目: 位相が乱れているように見えます→位相が乱れる場合があります

p.61 図Aを下記のように修正

p.105 左↑3行目と4行目: 11dBm → 12.7dBm



図A

p.111 右↑7行目: 18.5dBm → -18.5dBm, 18.7dBm → -18.7dBm,

右↑8行目: 24.6dBm → -24.6dBm, 29.1dBm → -29.1dBm

p.137 写真1(a)のキャプション: ハイ・パス・フィルタ部分→通過領域

p.137 右↑8行目: ネットワーク・アナライザを確かめます→ネットワーク・アナライザで確かめます

● フルデジタルFMラジオ用アンチエイリアスBPFの製作

p.172 右↑10行目: 遮断量→遮断域

p.174 右↑1行目: 二つ→一つ

● 別冊付録

p.10 図1-17 下記図のように-3dBの表記を追加

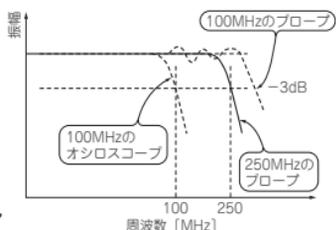


図1-17

p.25 右↑4行目: 観測できる立ち上がりは3ms→観測されるステップ応答は3ms, 右↑14行目: 観測できる信号の立ち上がり時間→観測されるステップ(立ち上がり時間=ゼロ)応答

p.26 コラム左↓10行目: 典型的なのはクロック信号で、その周波数は→その最高繰り返し周波数は、↓5行目: 高調波成分で成り立ちます→高周波成分が最も高い周波数成分になります

p.34 図3-14(b)を下記のように修正

p.34 左↑4行目: 抵抗の浮遊容量→抵抗周辺の浮遊容量

p.36 右↑6行目: 規制容量→寄生容量

p.37 左↑15行目: 電流のN倍の電圧→電流に比例した電圧

p.39 コラムのタイトル: つながないほうがいい→つないだほうがいい

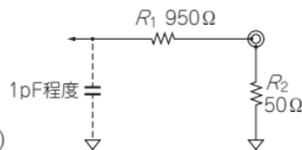


図3-14(b)